

業務プラットフォームをスマートフォン にして業務効率化 ～記録・情報共有・通信・申請の機能を集約～

社会福祉法人 青谷学園
小林靖尚



法人概要



育てる男が、家族を変える。社会が動く。



- 法 人 名 社会福祉法人青谷学園
- 設 立 1982年3月18日
- 所 在 地 京都府城陽市中芦原
14番地
- 実施事業 障害者支援施設 青谷学園
(定員70名)
障害者支援施設 DO
(定員30名)
青谷学園相談支援事業所
- 事業内容 知的障害者の入所施設(生活介護／施設入所支援)
- 職 員 数 約100名



障害者支援施設 DO

障害者支援施設 青谷学園

背景

週休3日の導入(2017年度) 『青谷学園の働き方改革』で目指す姿

週休3日の導入

- ・業務内容の見直し
- ・業務効率化をすすめる

職員のWLBの
実現

- ・年間休日173日
- ・プライベートの時間も増えてリフレッシュ

サービスの質の
向上

- ・仕事に集中でき、生産性の向上
- ・ご利用者様やご家族様の満足度UP

背景

『青谷学園の働き方改革』
見えてきた課題
職員のWLBとサービスの質の向上の両立

👉 職員の努力だけでは解決しない！

2024年度発表
資料コチラから👉



ご家族様と一緒にDX推進！
～残業時間95% CUT！～

社会福祉法人 青谷学園
小林靖尚



課題

カスハラ

業務継続
計画

感染対策

意思決定
支援

虐待防止

身体拘束
等適正化

会議・研修・訓練…どれも大事なこと。
でも、やることは確実に増えている。

100名が研修で30分の時間を使えば、3000分=50時間分のケアの時間が消失していることになる。

直接的なケアをするエッセンシャルワーカーである生活支援員には、**少しでもご利用者様の傍にいて欲しい。**

記録のための移動、チェック表や記録用ノートの内容の転記

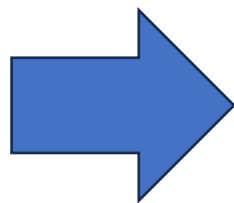
➡**記録作業の場所の限定と転記作業の多さに改善の余地あり。**

目的

間接的な業務プラットフォームをスマホにして
更なる**業務効率化**



装備をシンプルに。
業務に必要なものを
集約したい。



スマホでできることは多種多様
作業場所を限定しない！

スマホを業務プラットフォームに

①情報共有

②インカム

③各種申請

④眠りSCAN

⑤その他

Canva、GEMINIなど

⑥記録ソフト



①情報共有(LINEWORKS)

情報の一元管理



家族とも繋がる
コミュニケーションツール



研修報告書も
アンケートで
楽々



掲示板で
議事録回覧



カレンダーで
予定の共有

② インカム

現場での情報伝達

いつでも、どこでも

- ・ 助けが呼べる
- ・ 指示が出せる



③ 各種申請

ペーパーレス

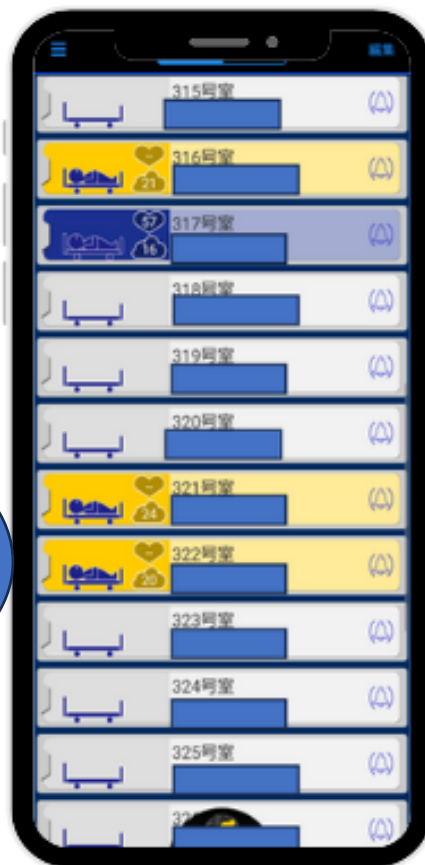


スマホから
各種申請可能！
年次有給休暇取得率
98.3%
(24年度実績)

打刻もスマホで完結

④眠りSCAN

全居室の見守り



モニターの情報を
手元で確認できる

⑤その他

日	相手先	摘要	入金額	出金額
4/1	前年繰越残高			
4/1	自販機	ジュース代(領収書なし)		90
4/2	セブンイレブン幸治田原通之口店	買い物代		678
4/15	Jafrac	移動式イチゴ狩り代		1,273
4/16	セブンイレブン幸治田原通之口店	買い物代		626
4/22	アルプラザ城南店			220

小遣い帳はスプレッドシート
にしてリアルタイムで共有



電子ブックの
情報公開サイト



安全なAI活用



⑥-1 記録ソフト

スマホを業務プラットフォームとするために
「スマホで入力できる記録ソフトが必要」

■選定条件

- ・アンドロイド端末で利用できるアプリがあるか？
i O Sのアプリはあるが、アンドロイドは少ない
- ➡ブルーオーシャンノートが条件をクリア

多彩なデバイスで どんな場所でも！

製品ラインナップ

高齢者・障がい者のあらゆるサービス種別にて、様々なデバイスから利用可能。データは一元管理のため、情報は即時共有されます。



Blue Ocean Note

ブルーオーシャンノート (パソコン版アプリケーション)



Blue Ocean Tablet

ブルーオーシャンタブレット(Windowsタブレット版アプリケーション)



Blue Ocean Pad

ブルーオーシャンパッド (iOSアプリケーション)

⑥-2 記録ソフト

導入から切り替えまでのスケジュールと参画メンバー

時 期	内 容	参 加 者
2024年 1月	福祉機器展で新しいソフトの情報収集・選定	経営層
2024年2～3月	ソフトのデモ・説明会	経営層＋事務員
2024年5～6月	選定(補助金申請)/導入している他法人へ見学	
2024年 11月	生産性向上委員会の立ち上げ・運用方法検討	施設長＋管理職
2025年 1月	ブルーオーシャンノート導入 ・初期設定 ・操作研修	事務員 リーダー中心
2025年 2月	試験運用開始	全職員
2025年 4月	本運用開始	全職員
2025年 7月	旧ソフトの契約終了 ➡ブルーオーシャンノートへ切り替え	

⑥-3 記録ソフト

■効果

- ・スマホからの記録入力が可能
- ➡簡易な記録のための**移動時間の削減**
- ➡リアルタイムな情報共有
- ・**各種チェック表のデジタル化**
(入浴・日中活動・食事・服薬など)
- ➡ペーパーレスに
- ・服薬業務を誤薬防止のため職員3名体制
「配布者」「与薬者」「確認者」
- ➡2名体制に変更し、**生産性向上!**
「与薬者」「確認者」のみに



職員の声

「スマホだとチェック表の一括入力ができないので不便」

- ➡一括入力できるタブレットを導入
デバイスによって使える機能が異なる

○使いやすいデバイスを導入して改善 🙌



「薬の内容が変わる度にソフトに入力するのは手間」

- ➡服薬業務の効率化ができる
- ➡落薬があった時に医務室の薬情ファイルを見にいかなくても誰の何の薬かスマホで分かる

○職員が便利になるメリットを説明

管理職や現場の職員自身で運用方法の検討＝**人財育成**

成果

①装備をシンプルにすることで職員への身体的負担の軽減

➡スマホとインカム用のネックスピーカーがあれば良い

②資料検索や操作の煩雑さの解消

➡分からないことがあればスマホを持って誰かに聞けば解決する

➡職員に貸与する際のアプリやウィジェットは統一して設定している(貸与後のカスタムは自由)

③機器の充電・管理の手間の軽減

➡共有して使うものではなく、個人への貸与なので職員は自身の機器を自身で管理するだけ

今後の課題・展望

■記録ソフトに音声入力機能やA I 要約機能の追加

感染症まん延時でも記録が楽にでき、必要な情報をA I が抜粋することで情報共有の更なる効率化

■ナースコールや外線をスマホで対応できる電話主装置へ

固定電話ではなく、貸与しているスマートフォンでナースコールや外線対応ができることにより移動時間削減による業務効率化

■G e m i n i のA I 機能を活用

会議資料や議事録作成に関して、G e m i n i を活用することで作成時間の短縮・誤字脱字のない読みやすい文章作成による業務効率化

おわりに

職員のWLBを犠牲にした、福祉サービスの質の維持・向上は労働人口の減少に伴い継続できないのは明白です。

スマホでできることは集約し、AIを有効活用することによって生まれる時間は全て**ご利用者様の直接的なケアの時間**に充てます。

福祉の対人援助の仕事だからこそその**魅力**を感じられる法人を目指します。